Form No. 3410-348 Rev A

デラックス PVC シートおよび布張りシートキット

T4240、CT2240、LT-F3000、LT3240、LT3340、R3240T、および Groundsmaster® 3400 トラクションユニット用

モデル番号02865—シリアル番号 316000001 以上

モデル番号02866—シリアル番号 316000001 以上

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

このキットは乗り心地の良さと安全性を提供するデラックスシートです。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	–	座席を外します。
3	運転席	1	新しい座席の準備を行います。
4	ワッシャ8 x 17mm キャップスクリュ8 x 40mm ナット プレーン8mm ワッシャ5/16 x 1 ロックナット8mm キャップスクリュ8 x 25mm	10 4 4 2 4 4	運転席を取り付ける
5	2 ウェイコネクタキットrecpt リレーハーネスアセンブリモデル 02750 ワイヤハーネス— 350cmモデル 02750 ワイヤハーネス — 400cmモデル 30651、30654、30657、30659 ヒューズ10A	1 1 1 1 1	電気ハーネスを接続します。
6	必要なパーツはありません。	–	座席キットの取り付けを完了します。

© 2016—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3410-348 A

1

シートキット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 刈り込みデッキを停止する。
3. カッティングユニット上昇。
4. デッキ固定ラッチがあるマシンではデッキをラッチで固定する。
5. 駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、キーを抜き取り、可動部が完全に停止したのを確認する。
6. 始動スイッチからキーを抜き取る。

運転台を上げるモデル 02750

1. バッテリーカバーを運転台に固定している90°レバーを左に回してカバーを外す。図 1。

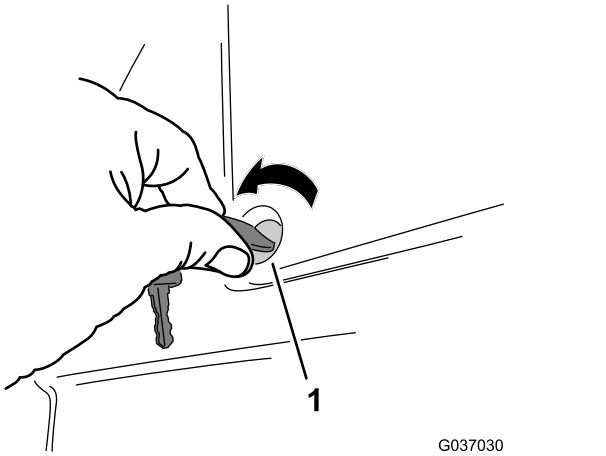


図 1

1. 90度回転ファスナ

2. 運転台のラッチハンドルを固定しているパッドロックがある場合には、外す図 2。

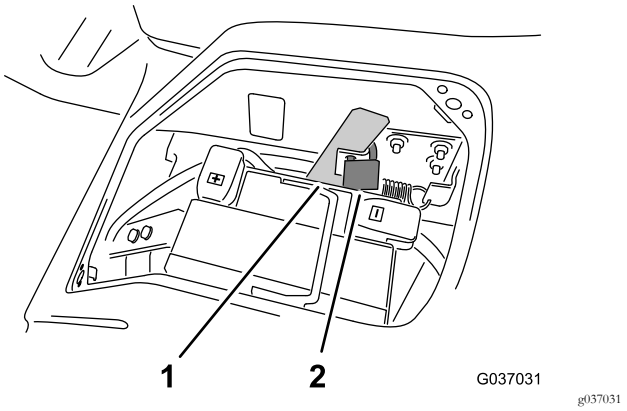


図 2

1. 運転台のラッチハンドル　　2. パッドロック

3. ハンドルを前方に動かして、運転台のロックをシャーシから解放する図 3。

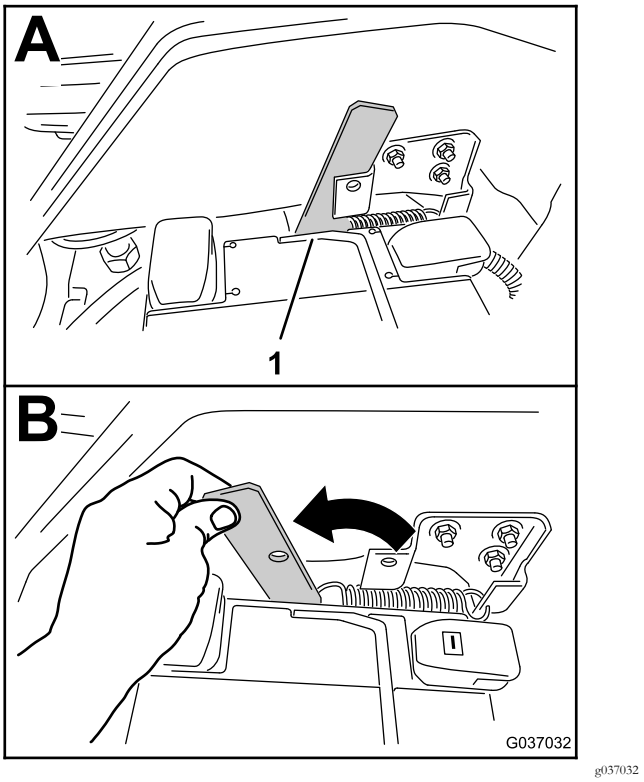
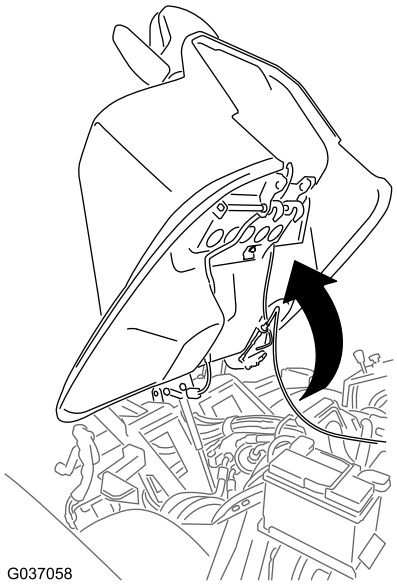


図 3

1. 運転台のラッチハンドル

4. 運転台を上げて前に倒す図 4。

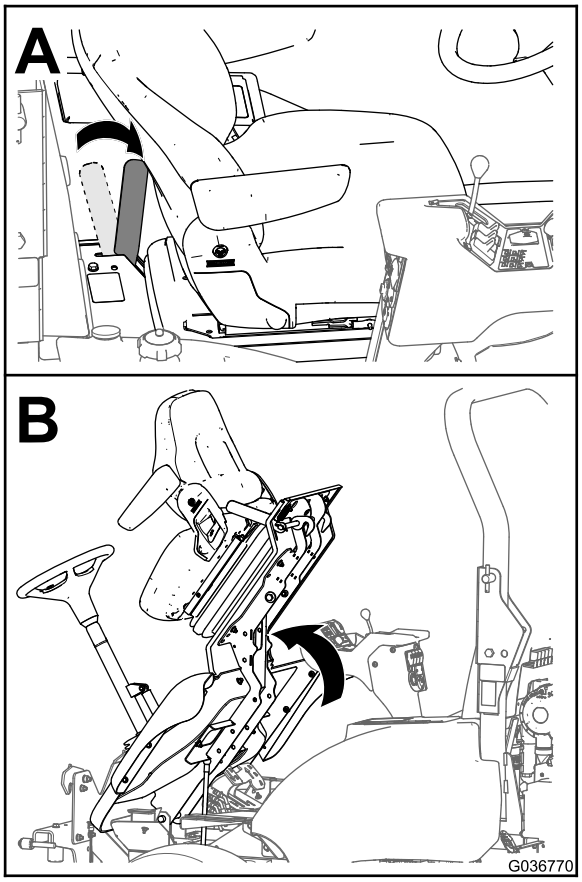


g037058

図 4

運転台を上げるモデル 30651、30654、30657、30659

運転台のラッチハンドルを解除位置にして、図 5のように運転台を前方に倒す。



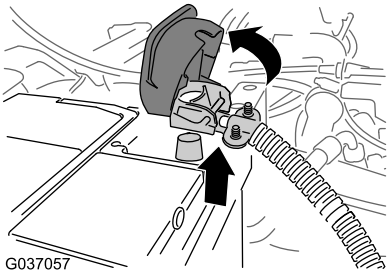
g036770

図 5
図はモデル 30659

バッテリーの接続を外す

1. マイナスケーブルのカバーを持ち上げる図 6。

   注 カバーを持ち上げるとバッテリーケーブルが端子からゆるんできます。



g037057

図 6

2. バッテリーから、マイナスケーブルを外す図 6。

   注 バッテリーのマイナスケーブルを、マイナス端子から十分に離してください。

物入れを取り外すモデル 30651, 30654, 30657, 30659

1. 物入れのカバーを開ける図 7。

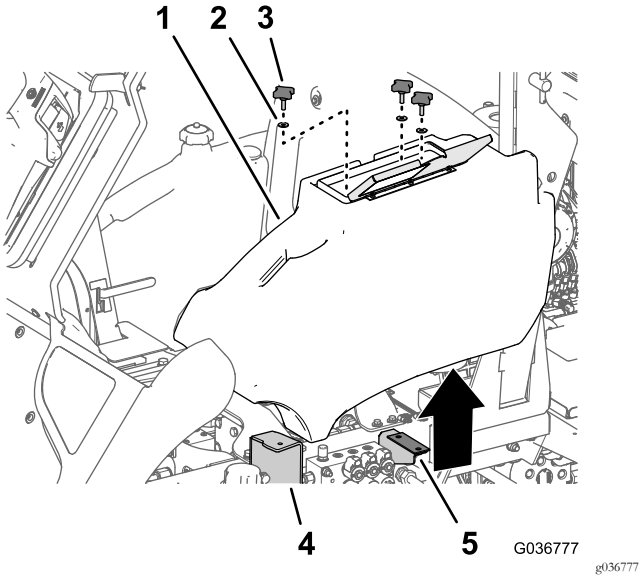


図 7

1. 物入れ
2. ワッシャ
3. ノブ
4. フランジステップ
5. 物入れ用ブラケット

2. 物入れをステップのフランジとブラケットに固定しているノブ 3 個とワッシャ 3 枚を外す図 7。
3. 物入れを機体から外す。

2

運転席を取り外す

必要なパーツはありません。

手順

座席の重量 38kg

注 座席の取り外し作業は、二人で行ってください。

1. 座席用ワイヤハーネスのコネクタを、マシン用ハーネスのコネクタから外す図 8。

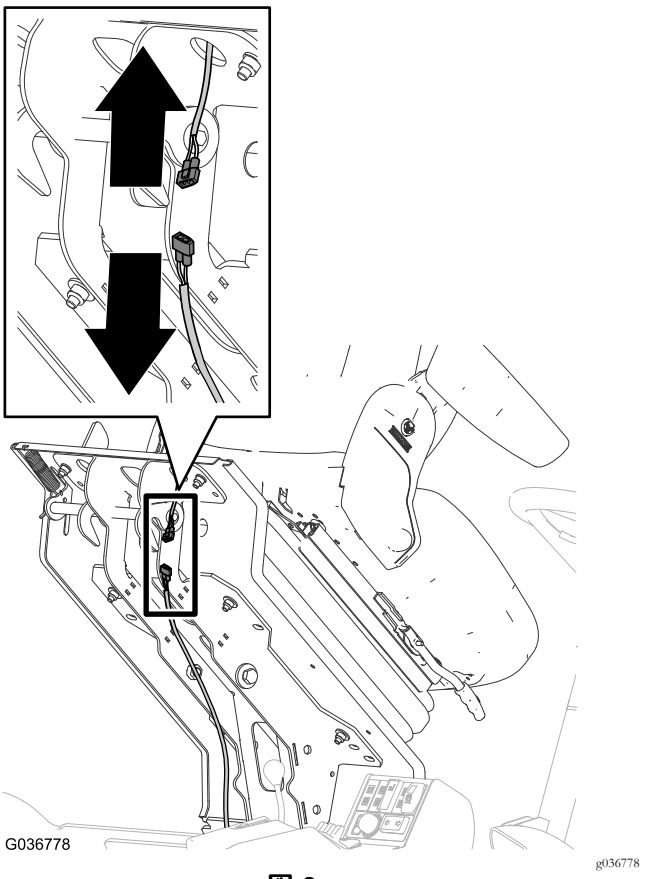
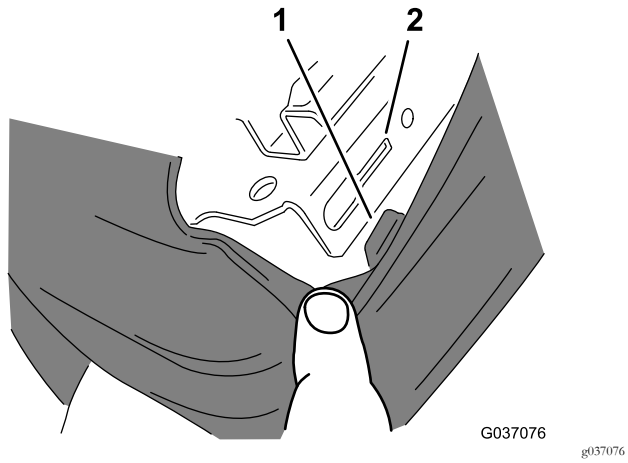


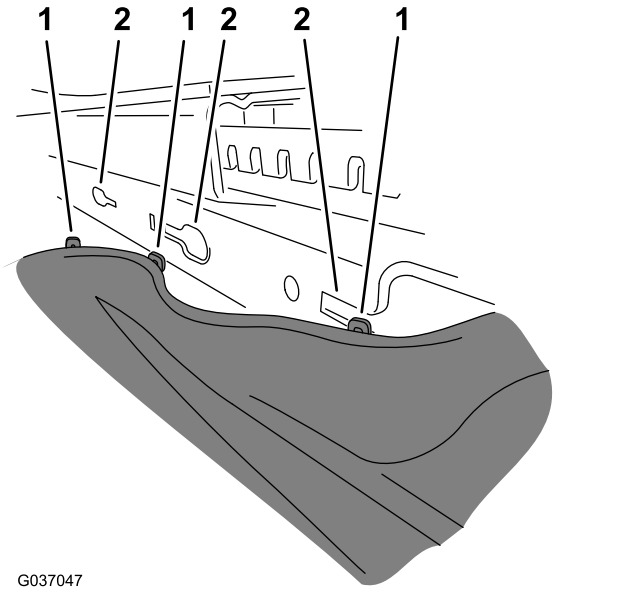
図 8

図は 3000 シリーズのモデル。モデル 02750 もほぼ同じ。

2. 座席スイッチ用のワイヤハーネスの運転台に通して座席に接続する。
3. 以下のようにして座席ベースのブーツを外す図 9。
   A. 座席ベース用ブーツの両側にある取り付けタブ座席ベースのチャネル部材のスロットから突き出ているを見つける。



g037076



g037047

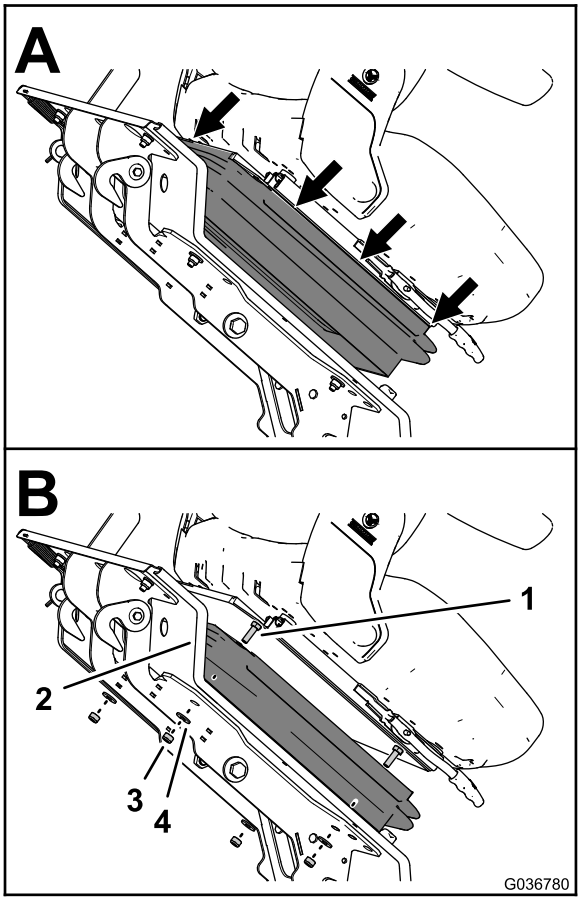
図 9

1. タブ座席ベース用ブーツ
2. スロット座席ベース用チャネル材

B. スロットに沿って、各タブを穴の位置までずらしてタブをチャネル材から外す。

注 座席ベースの左右でタブを動かす方向が異なります。

C. 全部のタブを外したら、ゴム製ブーツを外す図 10A。



g036780

図 10

1. ボルト8 x 25mm
2. 座席台
3. ロックナット8mm
4. ワッシャ8mm

4. 座席を座席台に固定しているワッシャ8mm4枚とロックナット8mm4個を外す。座席を支えながら行うこと図 10B。

注 座席と座席台についているボルト8 x 25mm4本は外さないでください。

5. 以下の手順で運転台を降ろす

A. 注意深く運転台を降ろす図 5 運転台を上げるモデル 30651、30654、30657、30659 (ページ 3)を参照。

B. 運転台が一番下の位置に近づいてきたら、ラッチのハンドルを機体前方に動かす図 5 運転台を上げるモデル 30651、30654、30657、30659 (ページ 3)を参照。

注 これにより、ラッチのフックがロックバーをクリアします。

C. 運転台を完全に下げ、ラッチのハンドルを機体後方に動かしてラッチのフックを完全にロックバーに掛けて運転台を固定する図 5 運転台を上げるモデル 30651、30654、30657、30659 (ページ 3)を参照。

6. 座席台から座席を取り外す。

注 ボルト8 x 25mm4本、ロックナット8mm4個、ワッシャ8mm4枚は廃棄する。

3

新しい座席の準備を行うモデル 02750

この作業に必要なパーツ

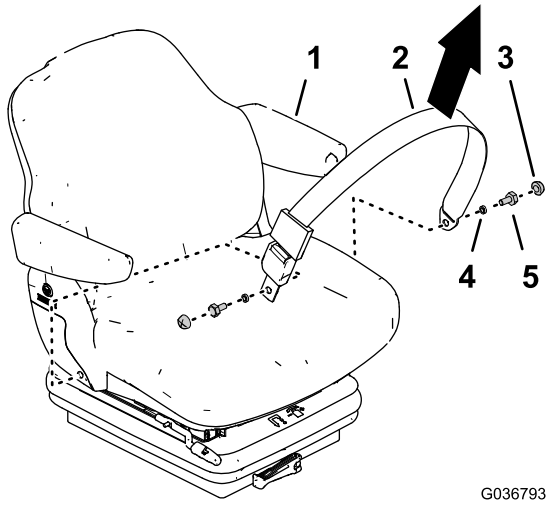
1	運転席

手順

重要 この作業はモデル 02750 のみに必要です。

注 ここでは、古い座席についているシートベルト固定側を外して新しい座席に取り付けます。

1. 古い座席にシートベルトを固定しているカバーとボルトを外す図 11。



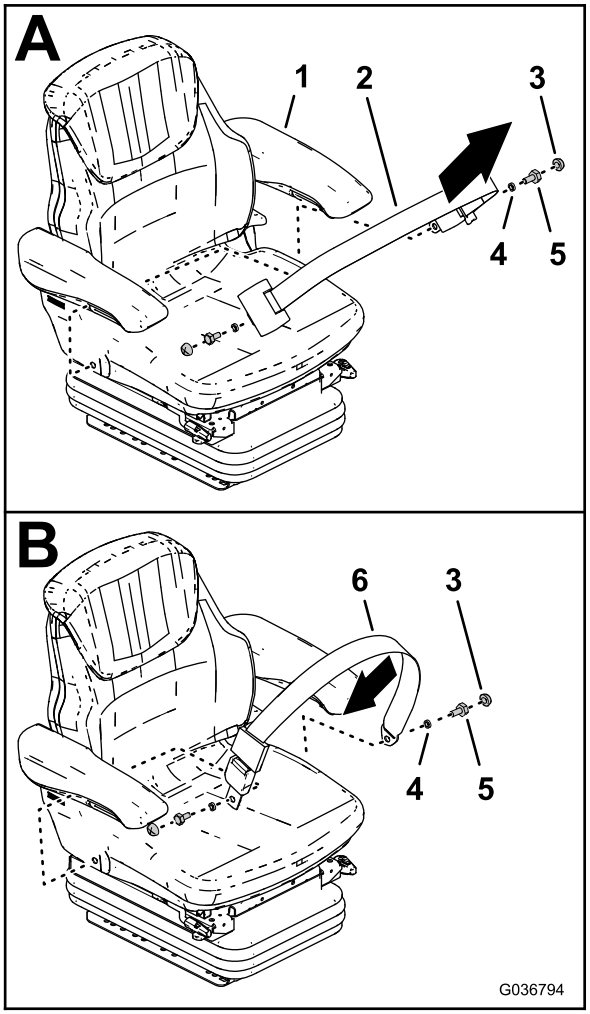
g036793

図 11

1. 座席旧
2. シートベルト固定側
3. カバー
4. ブッシュ
5. ボルト

2. 新しい座席のシートベルト自動巻き取り側を固定しているカバーとボルトを外してシートベルトを外す図 12。

   注 外したシートベルト部分自動巻き取り側は廃棄して構いません。



g036794

図 12

1. 座席新
2. シートベルト自動巻き取り側
3. カバー
4. ブッシュ
5. ボルト
6. シートベルト固定側

3. 新しい座席に固定側シートベルトを取り付ける図 12。
4. ボルトを3543N·m3.64.4kg.m = 2632ft-lbにトルク締めし、カバーを取り付ける図 12。

4

運転席を取り付ける

この作業に必要なパーツ

10	ワッシャ8 x 17mm
4	キャップスクリュ8 x 40mm
4	ナット プレーン8mm
2	ワッシャ5/16 x 1
4	ロックナット8mm
4	キャップスクリュ8 x 25mm

座席を座席台に組み付けるモデル 02750

座席の重量 40kg

1. 新しい座席のボトムプレートにある、座席取り付け穴マシンのモデルによって異なるを探し出す図 13。

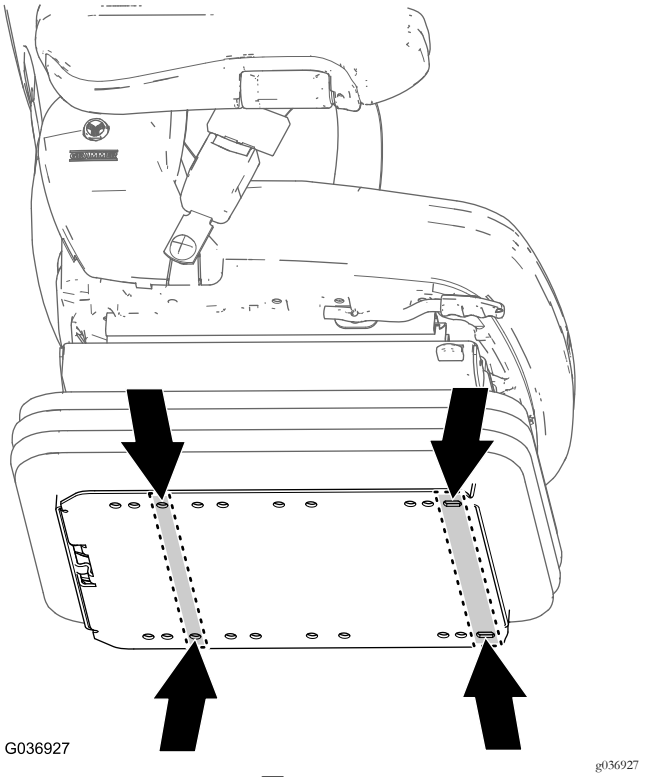


図 13
モデル 02750 のみ

2. ボトムプレートの穴図 14ステップ1で見つけたものに、キャップスクリュ8 x 40mm4本、ワッシャ8 x 17mm8枚、プレーンナット8mm4個を取り付ける。

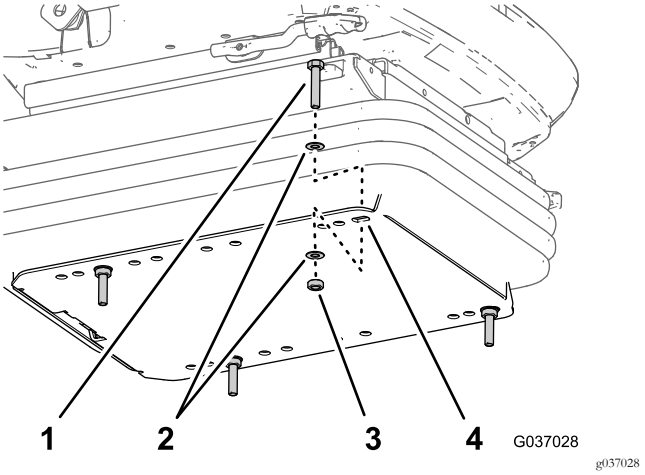


図 14

1. キャップスクリュ8 x 40mm
2. ワッシャ8 x 17mm
3. ナット プレーン8mm
4. フランジ座席のボトムプレート

3. 新しい座席についているキャップスクリュ8 x 40mm4本を、運転台の穴に合わせる図 15。

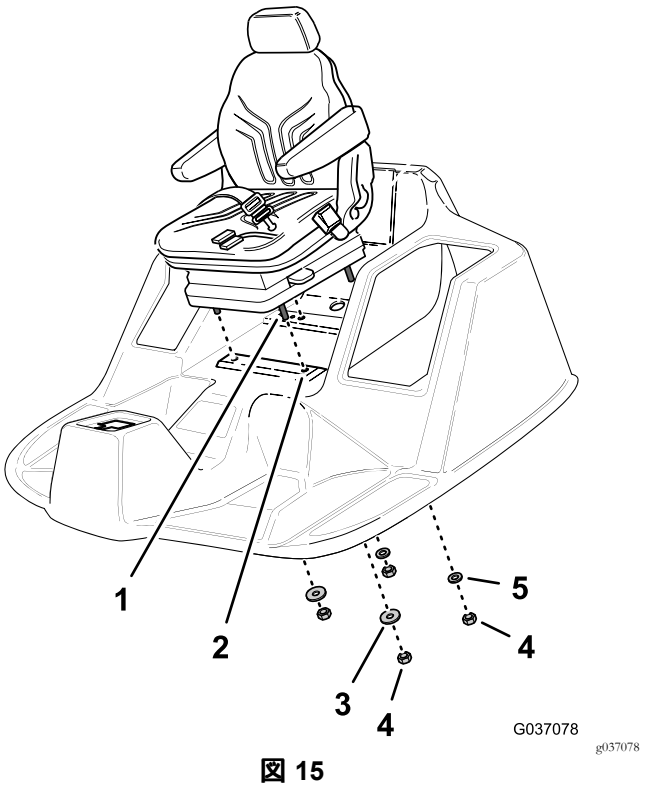


図 15

1. キャップスクリュ8 x 40mm
2. 運転台
3. ワッシャ5/16 x 1 インチ
4. ロックナット8mm
5. ワッシャ8 x 17mm

4. 運転台を中ほどまで持ち上げて、キャップスクリュ4本に接続する。

   重要 座席が落下しないように適切に支持すること。

5. 前側のキャップスクリュ2本に、ロックナット8mm2本とワッシャ5/16 x 1 インチ2枚を取り付ける図 15。
6. 後側のキャップスクリュ2本に、ロックナット8mm2本とワッシャ8 x 17mm2枚を取り付ける図 15。
7. 運転台を一番高い位置まで上げる。
8. ロックナットとキャップスクリュを 27N·m 2.8kg.m = 20ft-lbにトルク締めする。

座席を座席台に組み付けるモデル 30651、30654、30657、30659

1. 新しい座席のボトムプレートにある、座席取り付け穴マシンのモデルによって異なるを探し出す図 16。

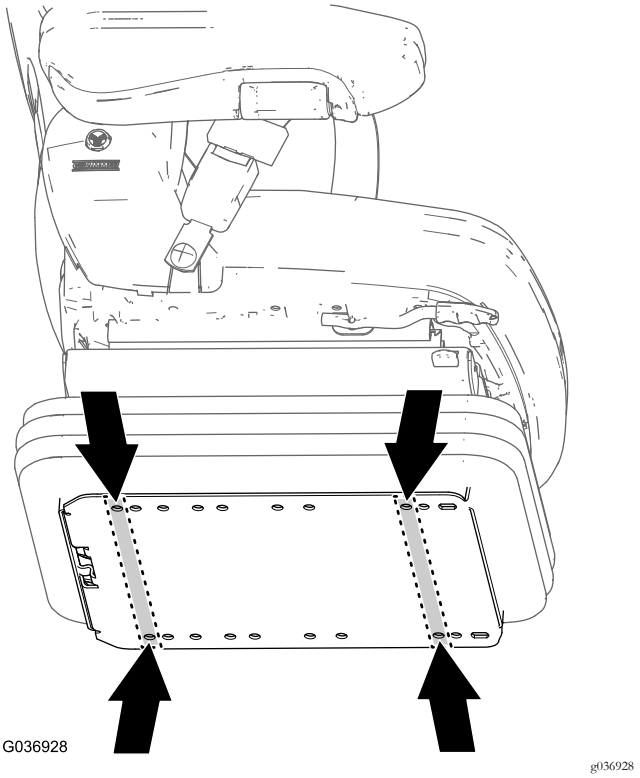


図 16
モデル 30651、30654、30657、30659

2. ボトムプレートの穴ステップ1で見つけたものに、キャップスクリュ8 x 25mm4本、ワッシャ4 x 17mm4枚を取り付ける。

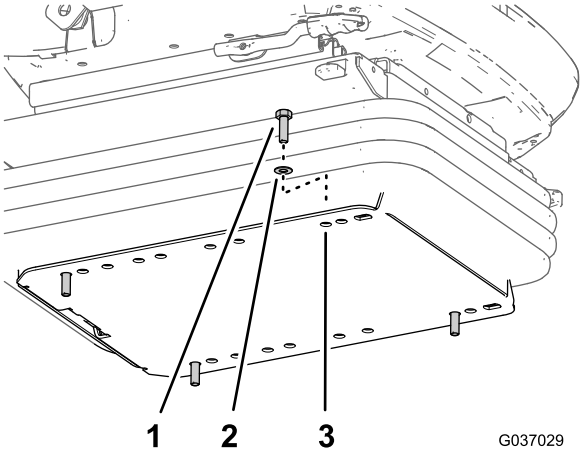


図 17

1. キャップスクリュ8 x 25mm
2. ワッシャ8 x 17mm
3. フランジ座席のボトムプレート

3. 新しい座席についているキャップスクリュ8 x 25mm4本を、運転台の穴に合わせる図 18。

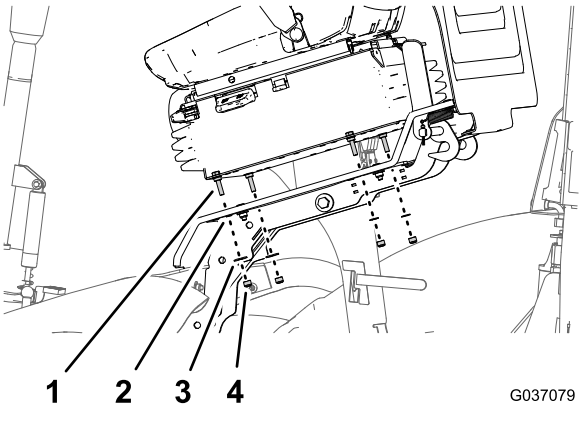


図 18

1. キャップスクリュ8 x 25mm
2. 運転台
3. ワッシャ8 x 17mm
4. ロックナット8mm

4. 座席の左側のキャップスクリュに、ロックナット8mm2本とワッシャ8 x 17mm2枚を取り付ける。
5. 運転台を中ほどまで持ち上げて、残りのキャップスクリュ2本にも接続する。

   重要 座席が落下しないように適切に支持すること。
6. 反対側のキャップスクリュ2本に、ロックナット8 mm2本とワッシャ8 x 17 mm2枚を取り付ける図 15。
7. 運転台を一番高い位置まで上げる。
8. ロックナットとキャップスクリュを 27N·m 2.8kg.m = 20ft-lbにトルク締めする。

5

電気ハーネスを接続する

この作業に必要なパーツ

1	2 ウェイコネクタキットrecpt
1	リレーハーネスアセンブリモデル 02750
1	ワイヤハーネス— 350cmモデル 02750
1	ワイヤハーネス — 400cmモデル 30651、30654、30657、30659
1	ヒューズ 10A

2 ウェイコネクタキットRecptを使って

ワイヤハーネスに 2 ピンのゴシック型コネクタが使用されている古い機械では、2 ウェイコネクタキットに取り換えてください。キットの取り付けについてはキットの説明書を参照してください。

リレーとハーネスを接続するモデル 02750

1. 図 19のようなリレーハーネスアセンブリを探し出す。

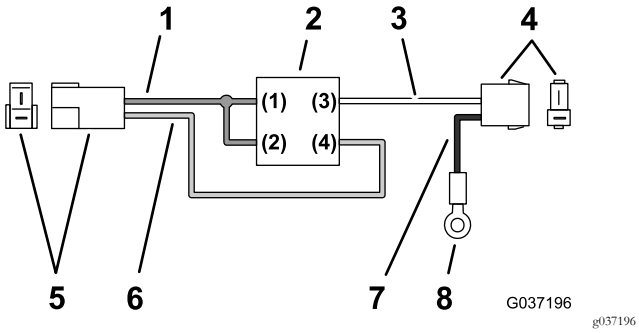


図 19

1. ワイヤ赤、+12V
2. リレー
3. ワイヤ白
4. 2 ソケットコネクタ座席
5. 2 ブレードコネクタ
6. ワイヤ緑
7. ワイヤ黒
8. リング端子

2. リレーハーネスの 2 ブレードコネクタを、2 ソケットコネクタ図 20ステップ12 運転席を取り外す (ページ 4)で取り外したものに接続する。

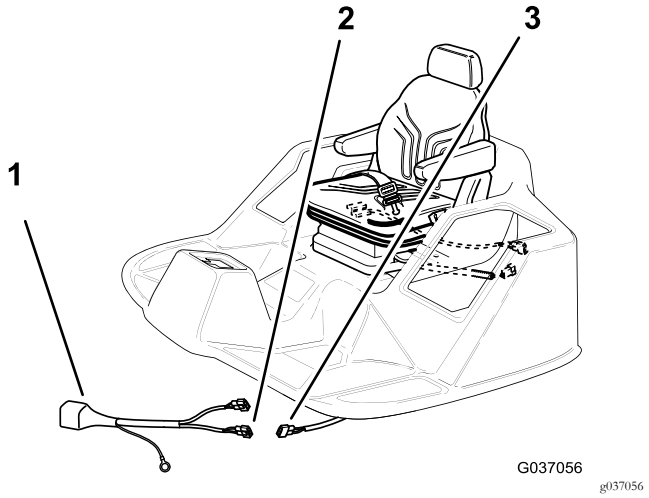


図 20

1. リレーハーネスアセンブリ
2. 2 ピンコネクタメインハーネスへ
3. 2 ソケットコネクタメインハーネス

3. ハーネスの、リング端子のついている枝線を、機体前部座席台の下にあるホーンへ配設する図 21。

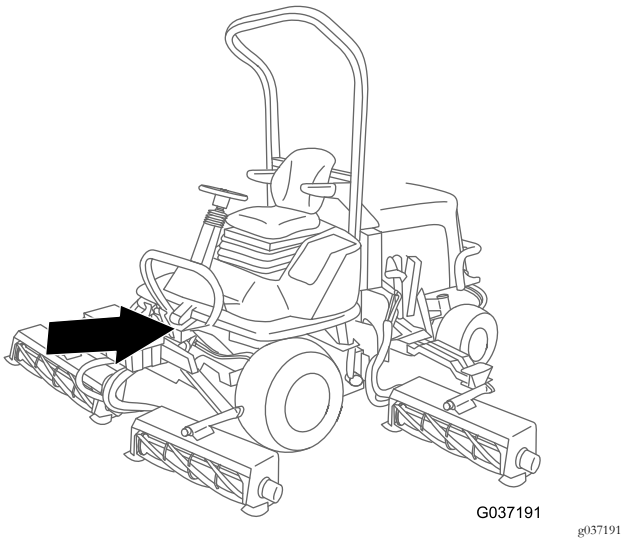


図 21

4. 車両のワイヤハーネスのリング端子とホーン用のブラケットを固定しているボルト、ワッシャ、ナットを外す図 22。

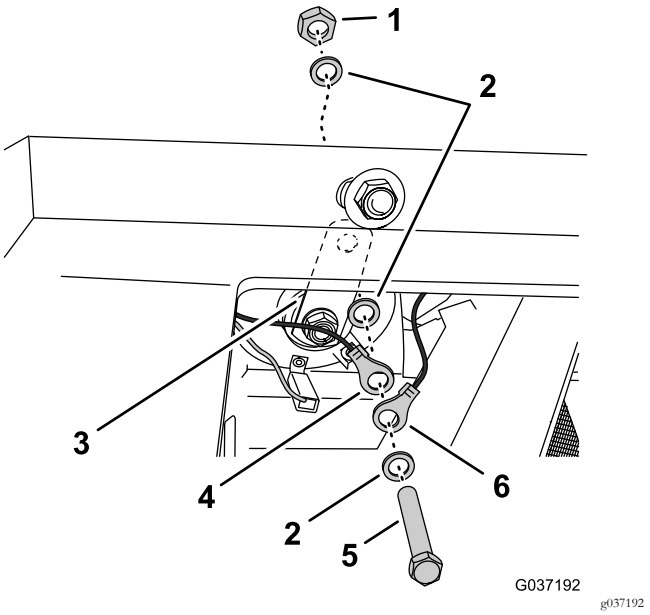


図 22

1. ナット
2. ワッシャ
3. ブラケットホーン
4. リング端子車両のハーネス
5. ボルト
6. リング端子リレーハーネス

5. リレーハーネスのリング端子と、車両のハーネスのリング端子と、ホーンを、シャーシに固定するステップ4で外したボルト、ワッシャ、ナットを使用する。
6. リレー用の2ソケットコネクタ白線と黒線を運転席後部の運転台にある穴に通す図 23。

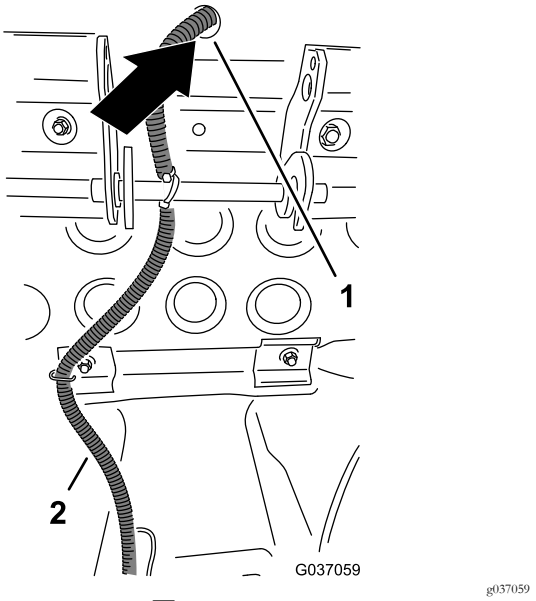


図 23

1. 穴プラットフォーム底部
2. リレーのハーネスとキットのハーネス

7. 座席の後ろ側にある、座席スイッチ用の2ピンコネクタ黄色線と灰色線を、リレーハーネスの2ソケットコネクタ白線と黒線に、図 24 のように接続する。

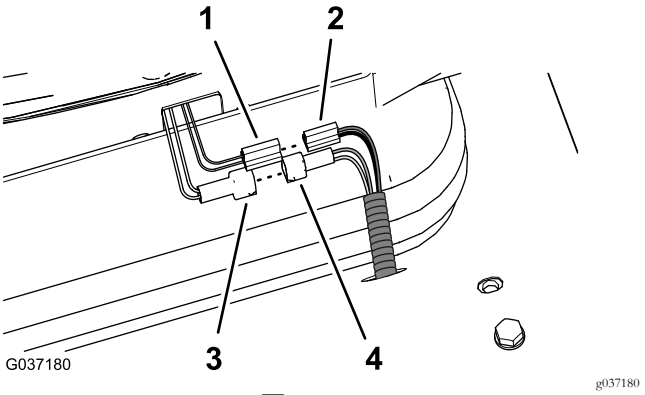


図 24

1. 2ブレードコネクタ座席のエアサスペンション
2. 2ソケットコネクタ350cmキットのワイヤハーネス黒線と赤線
3. 2ピンコネクタ座席スイッチ用黄色線と灰色線
4. 2ソケットコネクタリレーハーネス白線と黒線

座席のエアサスペンション用ワイヤハーネスを接続するモデル 02750

1. 図 25 に示されている、350cm のワイヤハーネスリング端子のないものを探し出す。

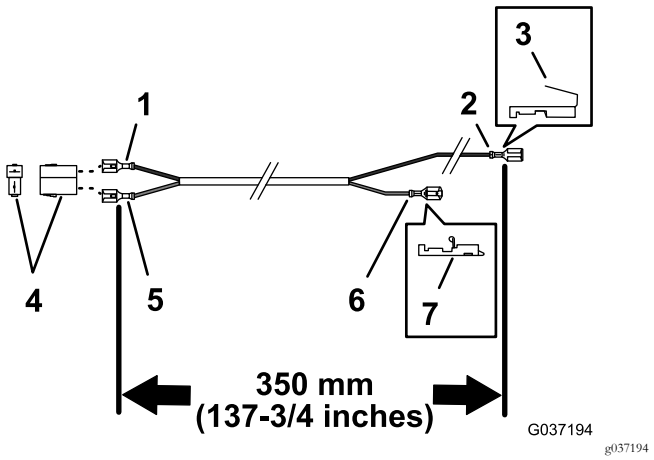


図 25

1. ワイヤ黒
2. ソケット端子黒線
3. 背乗りタイプソケット端子
4. 2ソケットコネクタ
5. ワイヤ赤
6. ソケット端子赤線
7. ポジロックタイプソケット端子

2. プラットフォーム底部で、350cm キット用のワイヤハーネスの2ソケットコネクタ黒線と赤線を、リレーハーネスに沿って、運転席の後ろ側にある穴に通す図 23 リレーとハーネスを接続するモデル 02750 (ページ 9)を参照。
3. エアサスペンション用の2ブレードコネクタを、350cm キット用のワイヤハーネスの2ソケットコネクタ黒線と赤線に接続する図 24 リ

レーとハーネスを接続するモデル 02750 (ページ 9)を参照。

4. 運転台の支点の周囲を通って電線をコントロールパネルへ導く。

   注 運転台を降ろした時に電線がつぶされないように配線ルートを選んでください。

5. コントロールパネルの下で、駐車ランプ用のコネクタを探し出し、このコネクタから、黒線用のソケットコネクタを外す図 26。

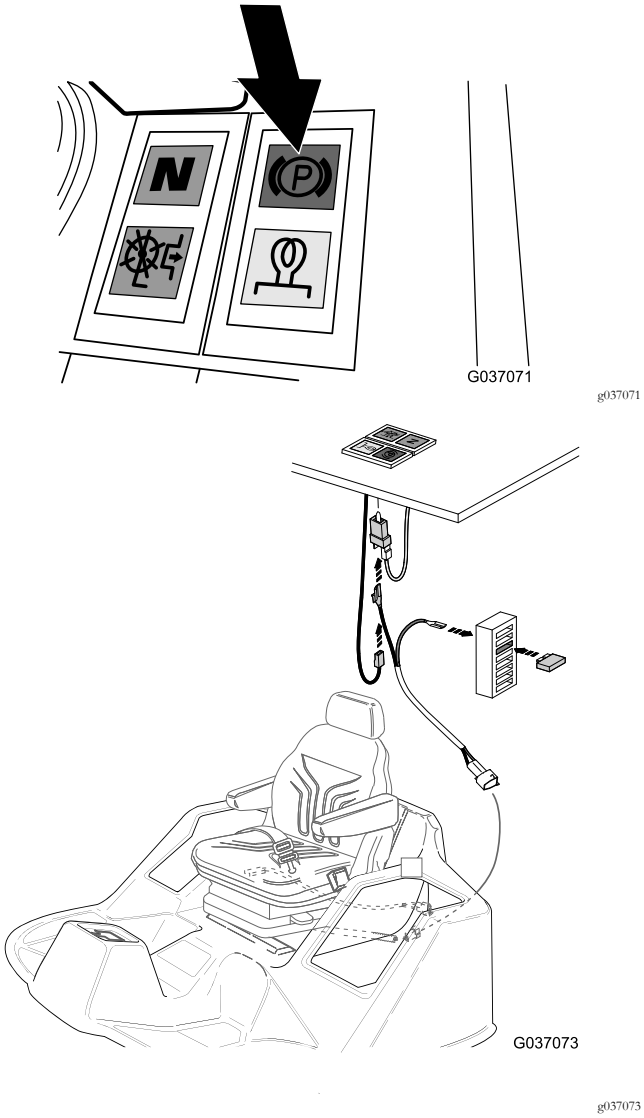


図 26

6. ステップ5で外した黒線用のソケットコネクタを、リレーハーネスの背乗り型コネクタのブレード端子に接続する図 26 と 図 27。

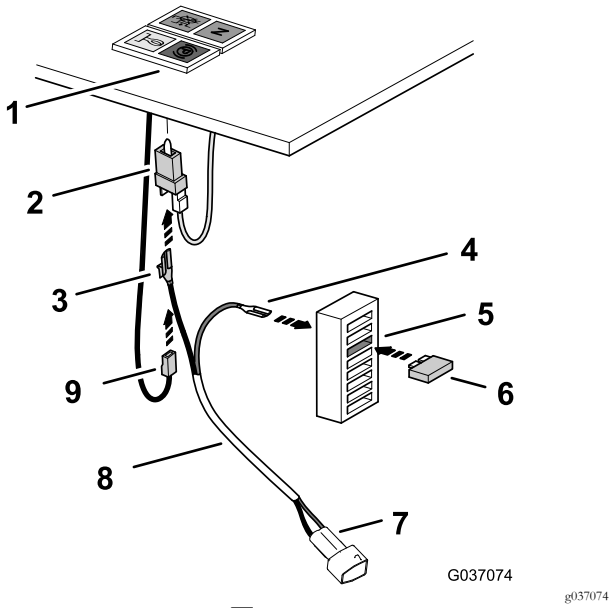


図 27

1. コントロールパネル駐車ランプ
2. 駐車ランプ用コネクタ
3. 背乗りコネクタ黒線リレーハーネス
4. ソケット端子赤線リレーハーネス
5. ヒューズブロック用ソケット上から番目
6. ヒューズ10 A
7. 2 ソケットコネクタ座席エアサスペンション
8. キットのワイヤハーネス350cm
9. ソケットコネクタ黒線車両のハーネス

7. 背乗りコネクタを、駐車ランプのコネクタのブレード端子に接続する図 27。
8. ヒューズボックスの裏側で、リレーハーネスのソケット端子赤線を、ヒューズブロック上から3番目のヒューズ位置のブレードコネクタに接続する図 27。
9. 上から3番目のヒューズ位置に、ヒューズ10Aを取り付ける図 27。

   注 ヒューズは奥まで完全に差し込んでください。

10. キットに付属のケーブルタイを使って全部のケーブルを安全に固定する。

バルクヘッドパネルを外すモデル 30651、30654、30657、30659

1. バルクヘッドパネルを車体のシャーシに固定しているボルト6 x 25mm 4本、ロックワッシャ6mm4枚、平ワッシャ6mm4枚を取り外す図 28。

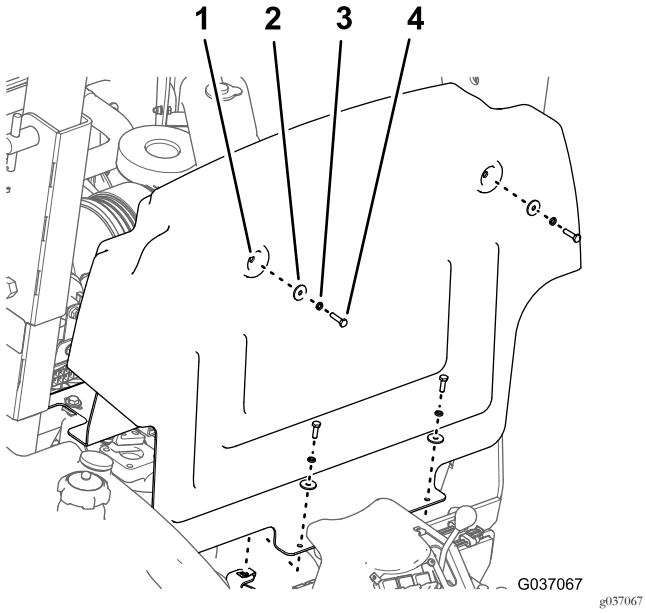


図 28

1. バルクヘッドパネル
2. 平ワッシャ
3. ロックワッシャ
4. ボルト

2. パネルを前方に跳ね上げて機体から外す図 28。

座席用の電装品を接続するモデル 30651、30654、30657、30659

1. ステップ12 運転席を取り外す (ページ 4)で外した車両用ワイヤハーネスを、運転台の穴に通す図 29。

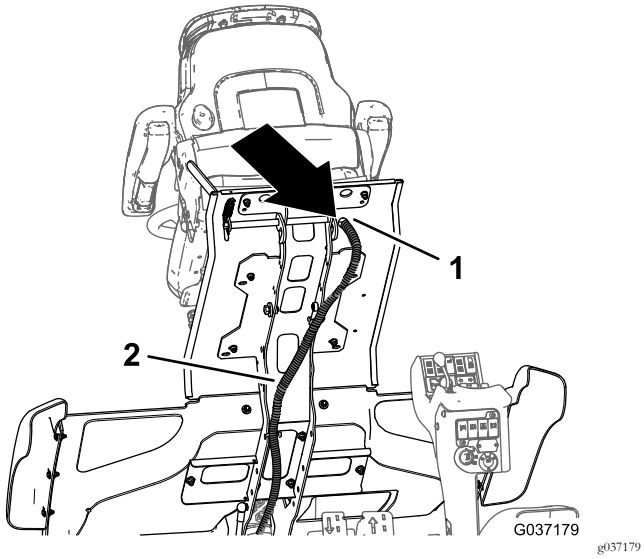


図 29

1. 穴プラットフォーム底部
2. キットのハーネス 400cm

2. 座席スイッチ用のコネクタ黄色線と灰色線を、マシン用ハーネスのコネクタに接続する図 30。

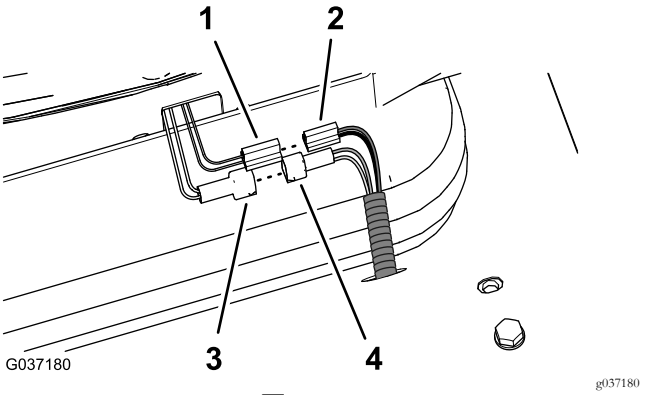


図 30

1. 2 ブレードコネクタ座席のエアサスペンション
2. 2 ソケットコネクタ400cm キットのワイヤハーネス黒線と赤線
3. 2 ピンコネクタ座席スイッチ用黄色線と灰色線
4. 2 ソケットコネクタリレーハーネス白線と黒線

3. 図 31 に示されている、400cm のワイヤハーネスリング端子が付いているものを探し出す。

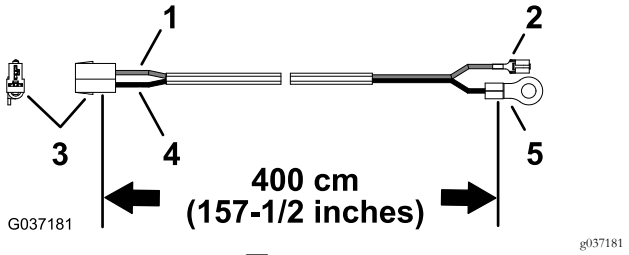


図 31

1. ワイヤ赤
2. ソケット端子
3. 2ソケットコネクタ
4. ワイヤ黒
5. リング端子

4. プラットフォーム底部で、400cm キットのワイヤハーネスの 2ソケットコネクタ黒線と赤線を、運転席の後ろの運転台にある穴に通す図 29を参照。
5. エアサスペンション用の 2 ブレードコネクタを、400cm キット用のワイヤハーネスの 2ソケットコネクタ黒線と赤線に接続する図 30 と図 31を参照。
6. プラットフォームの支点の周囲を通って電線をヒューズボックスへ導く図 32。

重要 運転台を降ろした時に電線がつぶされないように配線ルートを選んでください。

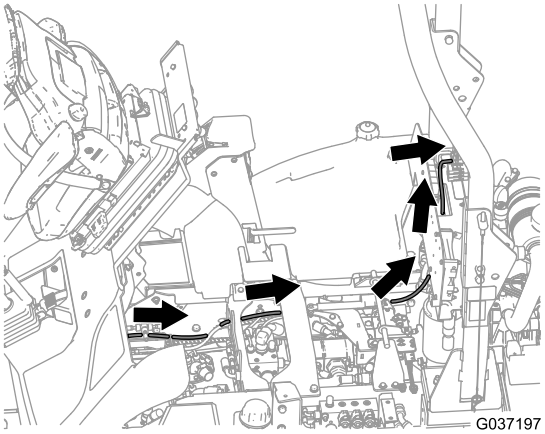


図 32

キットのワイヤハーネスをヒューズブロックに接続するモデル 30651、30654、30657、30659

1. バルクヘッドの後ろ側で、ホーンを電装プレートに固定しているロックナットとワッシャを外す図 33。

   注 ボルトは外さないでください。

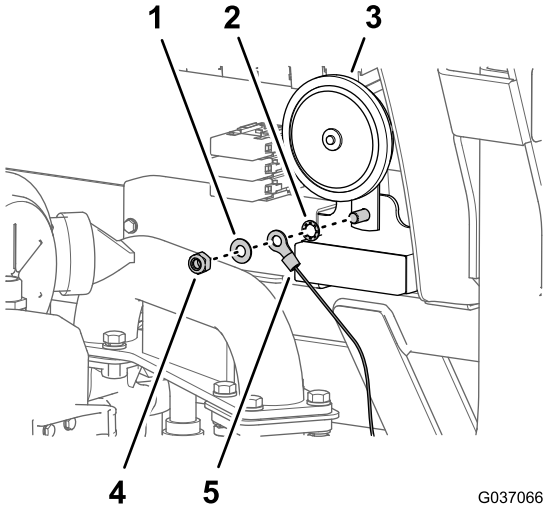


図 33

1. ロックワッシャ
2. ワッシャ
3. ホーン警笛
4. ロックナット
5. リング端子

2. 図 33に示すように、ロックナット、ワッシャ、リレーハーネスのリング端子と、ロックワッシャを、組み付けて、ボルトとナットを2329N·m 2.42.9kg.m = 1721ft-lb にトルク締めする。
3. 電装パネルの前面で、赤線電源側の端子をブロックの端子に、以下のように取り付ける
   - モデル 30651左から 5 番目の位置図 34。

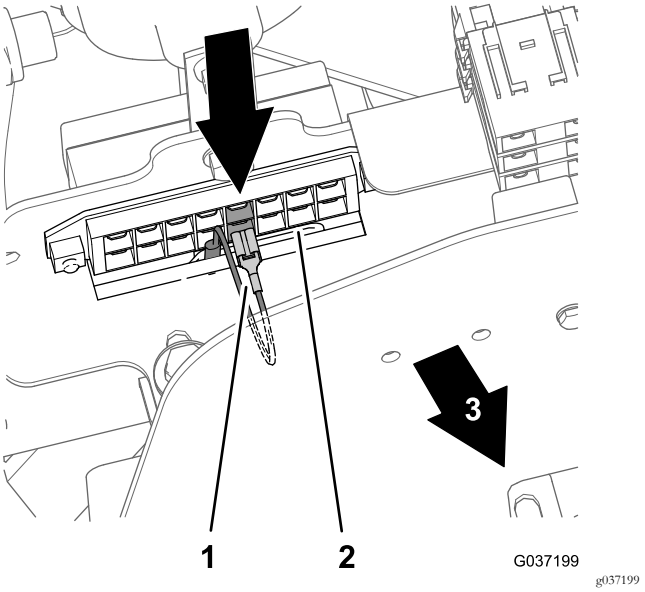


図 34
モデル 30651

1. 端子赤線電源線 5 番目の ヒューズ位置
2. ヒューズブロック
3. 機体正面

   - モデル 30654、30657、30659左から 4 番目の位置図 35。

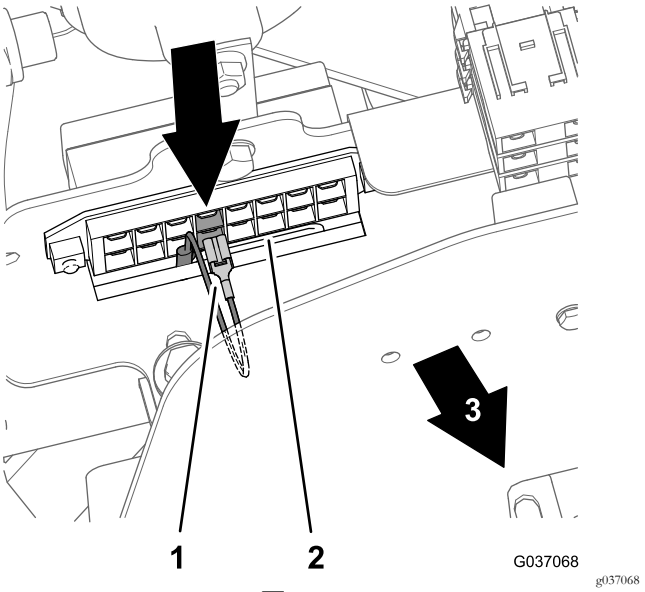


図 35
モデル 30654、30657、30659

1. 端子赤線電源線4 番目の ヒューズ位置
2. ヒューズブロック
3. 機体正面

4. キットに付属のケーブルタイを使って全部のケーブルを安全に固定する。

ヒューズを取り付けるモデル 30651、30654、30657、30659

1. ヒューズブロックのカバーを外す図 36。

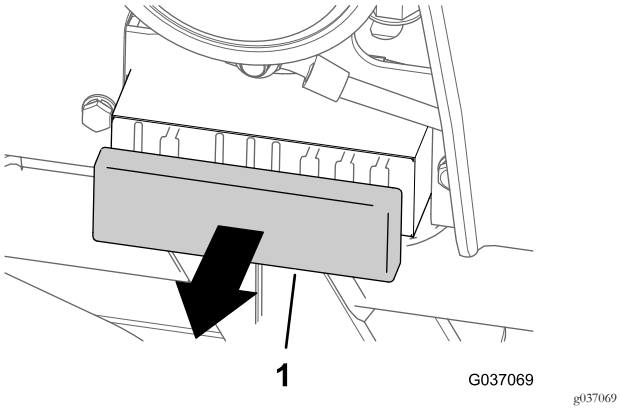


図 36

1. カバーヒューズブロック

2. ヒューズブロックの右から 4 番目のヒューズ位置に、ヒューズ10Aを取り付ける。

   注 ヒューズは奥まで完全に差し込んでください。

   - モデル 30651左から 4 番目の位置図 37。

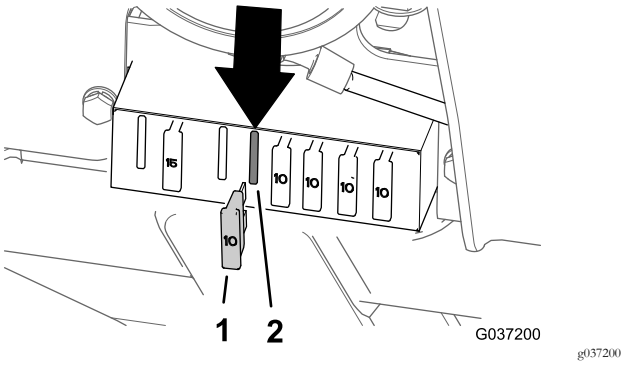


図 37
モデル 30651

1. 10 Aヒューズ
2. ヒューズブロックのソケット左から 4 番目

   - モデル 30654、30657、30659左から 5 番目の位置図 38。

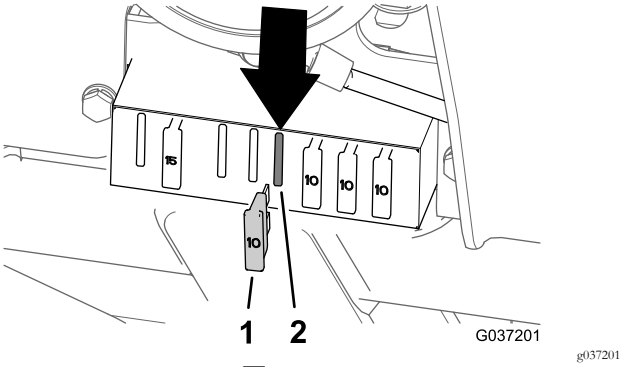


図 38
モデル 30654、30657、30659

1. 10 Aヒューズ
2. ヒューズブロックのソケット左から 5 番目

3. ヒューズブロックにカバーを取り付ける図 36。

バルクヘッドパネルを取り付けるモデル 30651、30654、30657、30659

1. バルクヘッドパネルの 4 つの穴を、シャーシについている 4 つのクリップナットに合わせる 図 28を参照。
2. バルクヘッドパネルをシャーシに固定するボルト 4 本、ロックワッシャ 4 枚、平ワッシャ 4 枚を使用する図 28を参照。
3. ボルトを 97119N·m0.50.7kg.m = 86106in-lbにトルク締めする。

6

座席キットの取り付けを完了する

必要なパーツはありません。

物入れを取り付けるモデル 30651、30657、30659

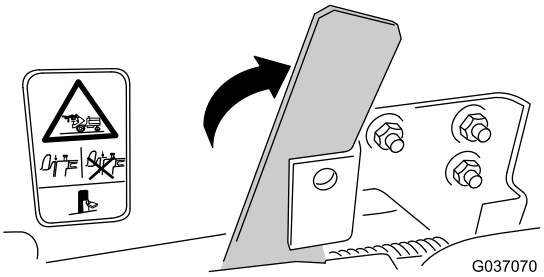
1. 物入れの 3 つの穴を、ステップのフランジについている穴と、物入れ用のブラケットの穴に整列させる図 7 物入れを取り外すモデル 30651, 30654, 30657, 30659 (ページ 4)を参照。
2. 物入れをステップとブラケットに固定するステップ 2 物入れを取り外すモデル 30651, 30654, 30657, 30659 (ページ 4)で外したノブ3本とワッシャ3枚を使用する。

   注 物入れがガタつかないように、ノブをしっかり締め付けてください。

運転台を降ろす

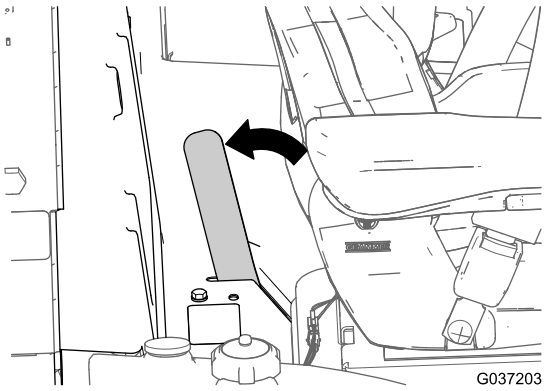
1. 注意深く運転台を降ろす 運転台を上げるモデル 02750 (ページ 2)または 運転台を上げるモデル 30651、30654、30657、30659 (ページ 3)を参照。
2. 運転台が一番下の位置に近づいてきたら、ラッチのハンドルを機体前方に動かす 運転台を上げるモデル 02750 (ページ 2)または 運転台を上げるモデル 30651、30654、30657、30659 (ページ 3)を参照。

   注 これにより、ラッチのフックがロックバーをクリアします。
3. 運転台を完全に下げ、ラッチのハンドルを機体後方に動かして図 39または図 40ラッチのフックをロックバーに掛けて運転台を固定する。



g037070

図 39
モデル 02750



g037203

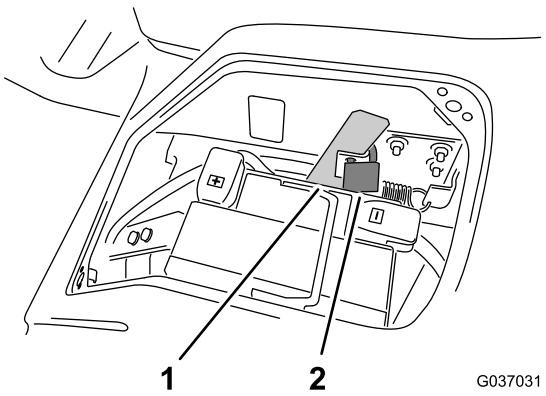
図 40
モデル 30651、30654、30657、30659

バッテリーのマイナスケーブルを接続する

1. マイナスケーブルをバッテリー端子に接続する図 6 バッテリーの接続を外す (ページ 3)を参照。
2. バッテリーケーブルに端子保護カバーを取り付ける 図 6 バッテリーの接続を外す (ページ 3)を参照。

バッテリーカバーを取り付けるモデル 02750

1. ステップ2 運転台を上げるモデル 02750 (ページ 2)でパッドロックを外した場合には、これを元通りに取り付ける。

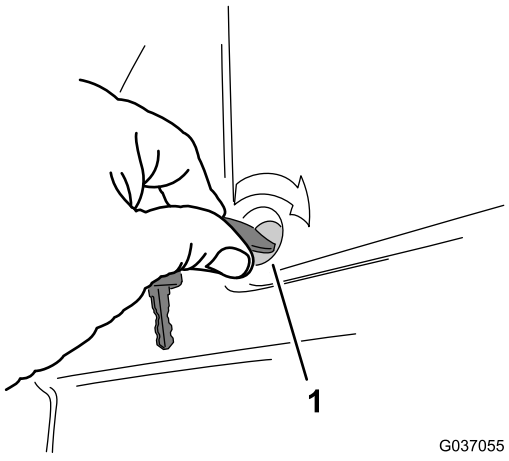


g037031

図 41

1. 運転台のラッチハンドル　　2. パッドロック

2. バッテリー上部の運転台の開口部にカバーを合わせる。
3. 90度回転ファスナ2個を右に90度回転させてカバーを運転台に固定する図 42。



g037055

図 42

1. 90度回転ファスナ

着席スイッチの動作を確認する

運転席の着席スイッチが正しく動作することを確認するそれぞれの車両の *オペレーターズマニュアル*を参照。

製品の概要

各部の名称と操作

座席コントロール

座席アクチュエータレバー

体重調整車両が停止した状態で、オペレータが運転席に着席し、自動体重身長調整装置のアクチュエータレバーを軽く引いて調整を行います。

注 調整中は完全に着席してください。

座席の高さを調整したい場合には、アクチュエータレバーを完全に外または中に押してあるいは引いてください。

重要 コンプレッサは、1分間以上は連続で使用しないでください。

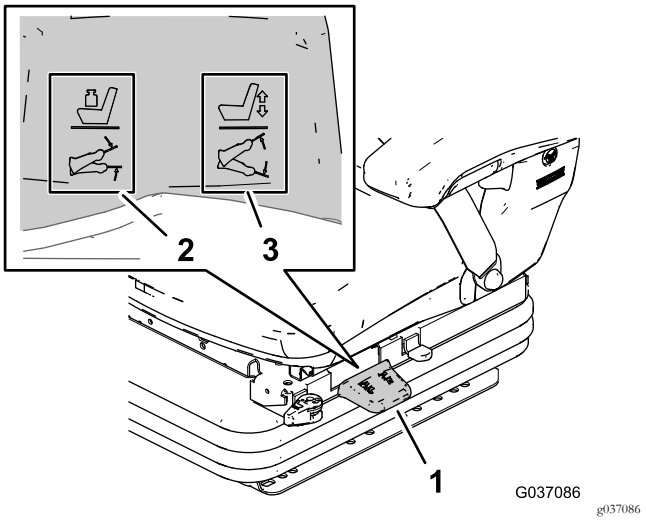


図 43

1. 座席アクチュエータレバー
2. 体重調整動作
3. 高さ調整動作

前後ロックレバー

座席調整レバーを使って、座席の前後位置を調整することができます図 44。調整レバーを上に引いて運転席を希望の位置にスライドさせ、その位置でレバーから手を離すと運転席が固定されます。

重要 希望位置でレバーから手を離し、運転席がロックされたのを確認してください。ロックされた運転席は前後に動きません。

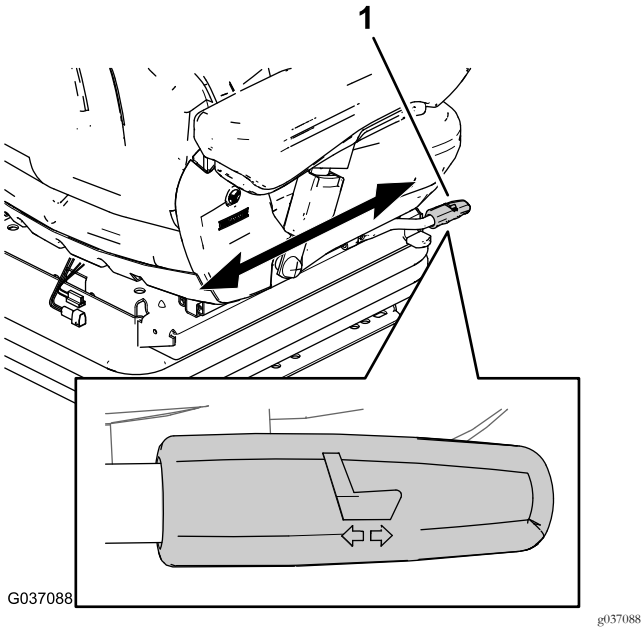


図 44

1. 前後ロックレバー

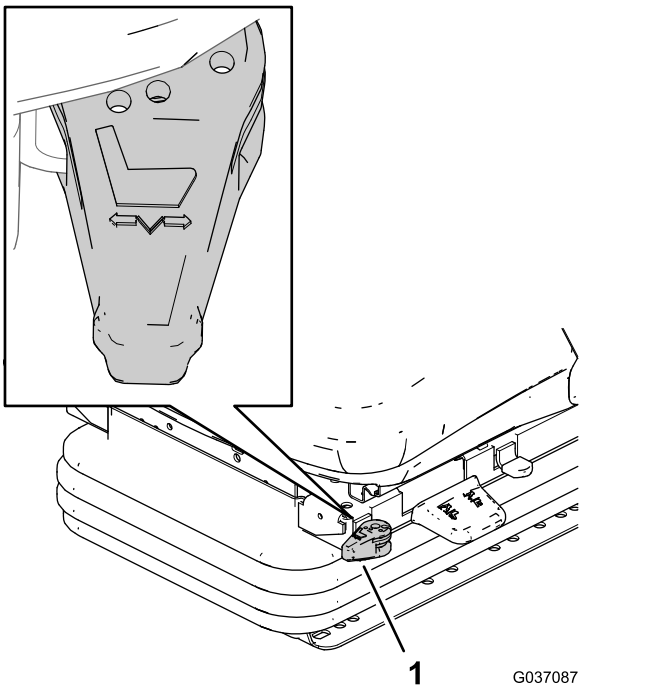


図 45

1. 前後アイソレータレバー

前後アイソレータレバー

前後調整車両の使用条件たとえばトレーラを牽引する時によっては、前後アイソレータを有効にすると乗り心地が改善します。これはアイソレータの作用によって前後方向の衝撃が緩和されるためです図 45。

- 座席調整レバーを前方に回転させると、座席の前後方向の衝撃吸収が行われます。
- 座席調整レバーを後方に回転させると、前後方向の衝撃吸収動作は行われません。

腰部調整ノブ

調整ノブを左右に回すと背もたれのクッションの高さと湾曲の調整ができます図 46。

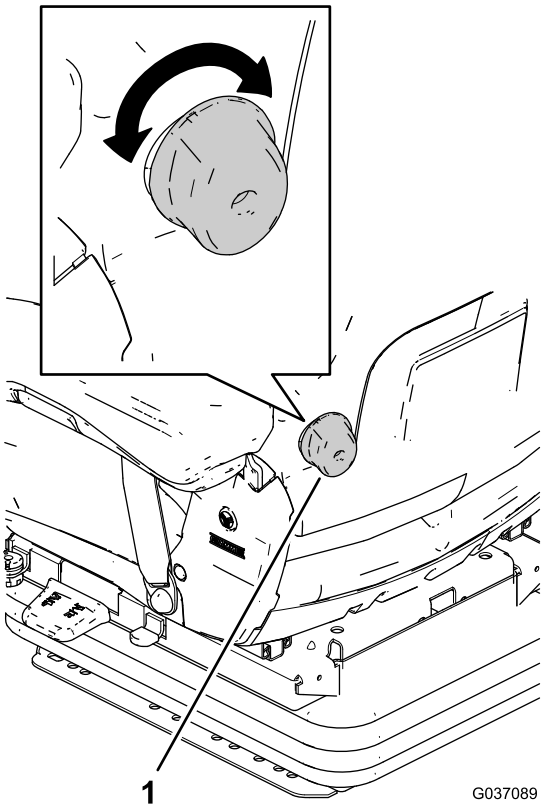


図 46

1. 腰部調整ノブ

上下動ロックレバー

上下動ロックレバーを使って座席を固定すると、座席の上下方向の衝撃吸収が行われなくなります図 47。

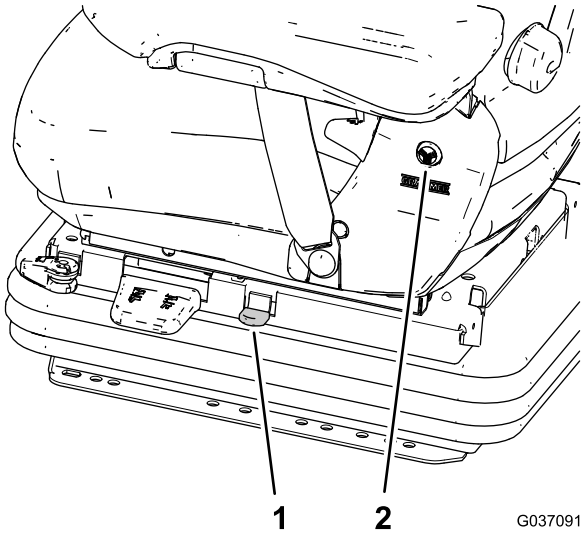


図 47

1. 上下動ロックレバー
2. 丸キャップカバー

アームレスト

アームレストは、個別に高さを調整できるほか、必要に応じて折り上げることができます。

アームレストの高さを調整するには、カバーについている丸いキャップを外し、六角ナットをゆるめて高さを調整し、その位置でナットを締めつけます図 47。

アームレストの角度は、レバーで調整することができます図 48。

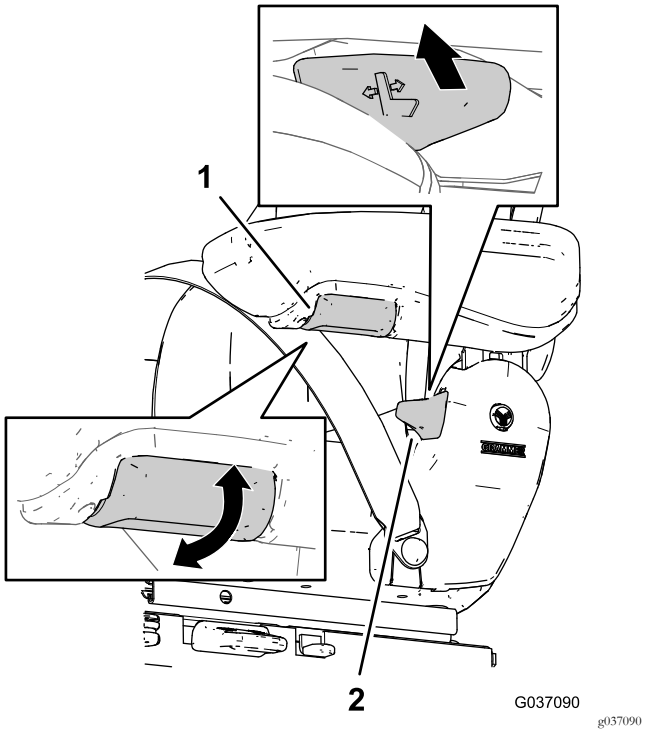


図 48

1. 背当てチルトレバー
2. アームレストの角度コントロール

背当てチルトレバー

座席のリクライニング調整を行うときには、背当てチルトレバーのロックを解除します図 48。

重要 座席を希望の角度に倒してください。チルトレバーをロックし、背当てが動かないことを確認してください。

保守

座席のサスペンション部のグリスアップ

整備間隔: 1年ごと

1. 座席ベースのチャネル部材からゴム製ブーツを外す。
2. 回転部分全部に、高品質のグリスを補給する。
3. 座席ベースのチャネル部材にゴム製ブーツを取り付ける。

シートベルトの保守

シートベルトには交換可能な部品はありません。摩耗、破損、動作不良などが発生したら、シートベルトアセンブリを交換してください。

座席の清掃

重要 運転席の洗浄には高圧洗浄機を使わないでください。

注 運転席座面はいつもきれいにしておいてください。

⚠ 注意

背もたれの清掃時の注意リクライニングのレバーにうっかり触れると背もたれが前に倒れてきてけがをする恐れがある。

背もたれの清掃時にリクライニングのレバーを操作する時は、背もたれをしっかり支えておくこと。

- クッション部分は取り外さずに清掃することができます。
- クッション部分を清掃する時、洗剤をクッションにしみこませないように注意してください。
- 洗剤は、市販のクッション用またはプラスチック用のものをお使いください。新しい洗剤をお使いになる場合には、洗剤による変色などが起こらないかどうか、目立たない部分で確認するようにしてください。

メモ

メモ

メモ

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について
トロ・ワランティー・カンパニートロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用
トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について
トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

トロはあなたの個人情報を保護します
トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法
ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

トロの品質保証

限定保証

保証条件および保証製品

Toro® 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間*のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。 この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクサセリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。 これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。 *オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキバッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。 部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーの保証について

ディープサイクルバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。 バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。 このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。 本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

保証の対象とならない部品や作業など エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。

商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。

この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

米国とカナダ以外のお客様へ

ご自分の国や地域における製品保証内容の詳細については、ご購入先の弊社代理店ディストリビュータまたはディーラにお尋ねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。輸入元の対応にご満足頂けない場合は本社へ直接お問い合わせください。